

JR東海労ニュース

No.1798

2013年2月18日

JR東海労働組合

統一要求・統一闘争で2013JR春闘を闘おう！③

**ベースアップ・定期昇給・夏季手当！
要求に応え満額支給せよ！**

**65歳定年制・「経過措置」「専任V」撤廃・諸手当改善・
職場要求などを勝ち取るため職場から闘おう！**

本部は2月18日、2013年賃金引き上げ、夏季手当及び諸要求（申第30号）に基づく第1回団体交渉を開催しました。

団体交渉では、本部から「政府が進める景気回復策が企業だけのものではならない。今後、労働者には消費税増税、年金支給年齢の段階的引き上げ等の負担がかけられ、労働者や高齢者の生活は益々厳しくなることは明白である」として「会社は社員の努力と今後への期待を含めて、今こそ賃金の底上げと待遇改善を行うべきである」「高齢者の雇用については、あらためて65歳定年制を求めると同時に、選別・差別することなく希望者全員を65歳まで雇用することを要求する」と強く主張しました。

一方、会社は「海外景気の下振れや国内のデフレの影響など、景気が下押しされるリスクがあり楽観視できない」とし、「当社の賃金水準は相当高い。ベースアップの合理的理由は見出しにくい」「夏季手当についても慎重な判断が必要」と見解を述べ、私たちの要求に対し難色を示しました。

しかし会社には、過去最高の純利益を計上する決算を見てもわかるように、私たちの要求に応える体力があります。要求を勝ち取るため職場から2013JR春闘を闘い抜きましょう！

なお、第2回団体交渉は2月21日に開催します。

賃金引き上げに応える条件は整っている！

- ◆2012年度第3四半期決算は過去最高の純利益を計上！
- ◆通期の決算予想も上方修正！
- ◆景気回復に向けた動きが加速！
- ◆安倍首相が経済団体に賃上げを要請！